

# 2008年度第1回消費者の暮らし向きに関するアンケート結果

2008年11月18日  
(社)ふくい・暮らしの研究所

調査月…2008年9～10月  
 調査名…2008年度第1回消費動向調査  
 内容：1. 家庭を取り巻く暮らし向き  
 2. 1年後の物価  
 3. 今後半年間の耐久消費財の支出  
 4. 今後半年間のサービス等への支出  
 5. 今年のお歳暮について  
 調査対象…福井県民生協組合員3000名(市町世帯数比で共同購入利用者の中から無作為抽出)  
 集約：配布3000枚、回収1320枚、回収率44.0%(共同購入商品配送時に配布、郵送で回収)  
 調査者…(社)ふくい・暮らしの研究所

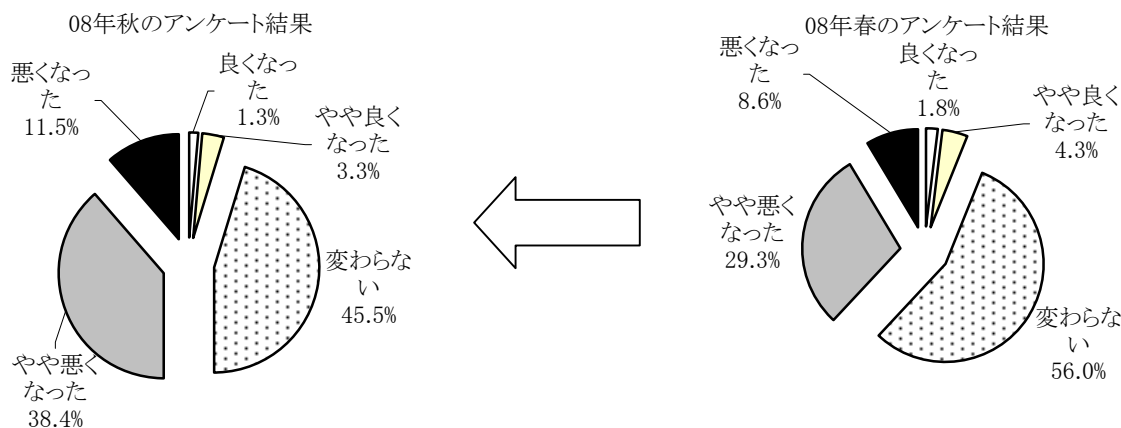
## I. 政府は景気動向を、こう見えています(2008年10月20日公表の内閣府月例報告より抜粋)

— 景気は、弱まっている。 —  
 先行きについては、当面、世界経済が減速するなかで、下向きの動きが続くとみられる。加えて、アメリカ・欧州における金融危機の深刻化や景気の一層の下振れ懸念、株式・為替市場の大幅な変動などから、景気の状態がさらに厳しいものとなるリスクが存在することに留意する必要がある。

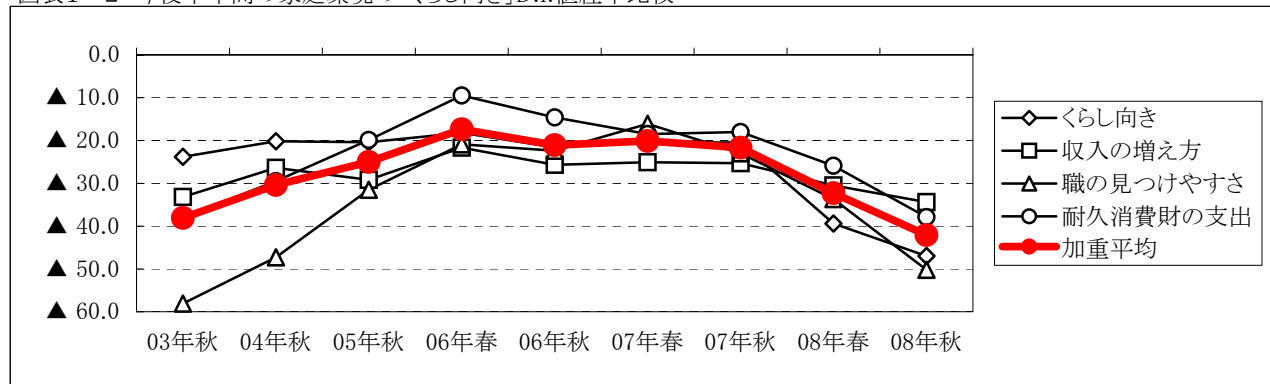
一方で、今回(社)ふくい・暮らしの研究所が実施したアンケート結果(08年10月、標本数1320)によると、実際の福井県民の消費者マインドは

暮らし向きをはじめ消費者マインドは、今年春先から低下しはじめ、今回調査では03年秋に調査開始して以来の最悪の数値となっています。(図表1-1、1-2参照)

図表1-1 半年前と比べて現在の「暮らし向き」についてアンケート結果



図表1-2 今後半年間の家庭環境の「暮らし向き」D.I.値経年比較



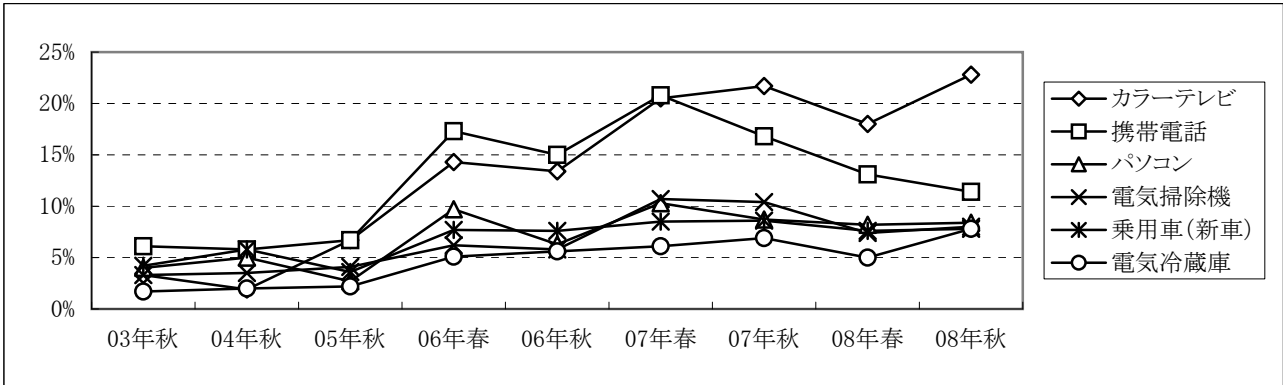
II. 1年後の消費者物価の見通しは平均で4.1%の上昇となり、今春よりやや下がりましたが依然として、物価上昇の見通しが強くなっています。著しく値上がりした品目は、ガソリン・灯油、パン・麺類、乳卵類の3品目の回答比率が高くなっており、その他の値上がり品目では紙製品・トイレtpーパーや食用油と回答された方が多くなっています。(図表2参照)

図表2 著しく値上がりした品目ワースト10(複数回答)

	品目	回答率		品目	回答率
1位	ガソリン・灯油	89.6%	6位	税金	27.6%
2位	パン・麺類	73.3%	7位	社会保険料	26.3%
3位	乳卵類	38.6%	8位	ガス・プロパン	25.8%
4位	加工食品	28.1%	9位	酒・飲料	22.0%
5位	調味料	28.1%	10位	肉類	21.2%

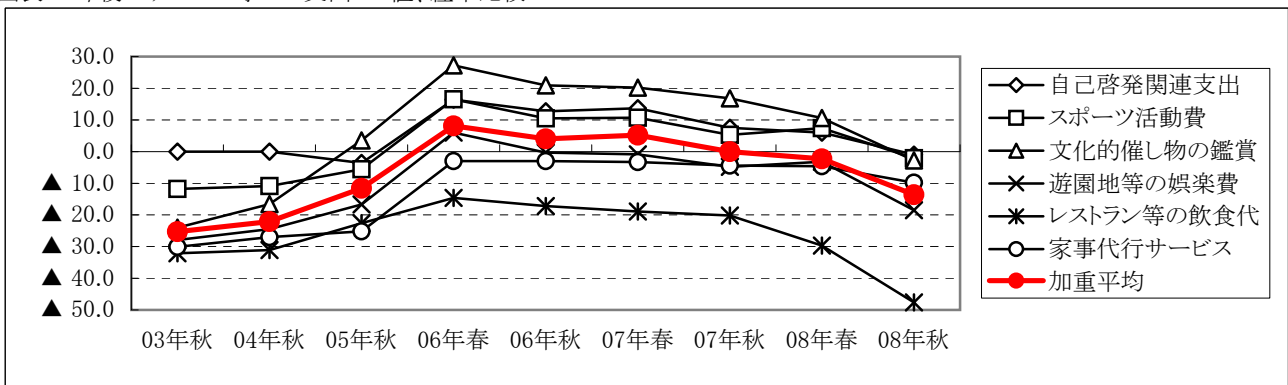
Ⅲ. 今後半年間の耐久消費財購入予定の上位3品目は、「カラーテレビ」「携帯電話」「パソコン」と春先と較べて「電気掃除機」と「パソコン」の順位が入れ替わりました。これは、「電気掃除機」の買い替え期が過ぎたためと思われます。カラーテレビは、地上デジタル放送への切り替え時期が迫っているために急増しています。携帯電話は、価格体系見直しの影響で急激に落ち込んでいます。「パソコン」「乗用車(新車)」は、07年度からほぼ一定水準となっています。「電気冷蔵庫」が、買い換え時期に来ていると思われ、増加しています。

図表3 耐久消費財、今後半年間の購入予定上位



Ⅳ. 今後半年間のサービス等への支出予定は、「レストラン等の飲食代」をはじめ急激に低下しています。

図表4 今後のサービス等への支出D.I.値、経年比較



Ⅴ. 今年のお歳暮について、贈答先は親戚が最も多く、贈答先は平均で2.9箇所、平均の予算は9,501円で前年より減り、「贈らない」方も増えています。購入予定商品は、1位ビール、2位ハム、3位日本酒・地酒、4位洗剤、5位かにと、ハムと日本酒・地酒が入れ替わりました。

Ⅵ. 後期高齢者医療制度について、生活へ「影響する」「ある程度影響する」と回答した方は合わせて54.4%と高くなっています。経済状況の悪化が続く見通しの中で、今後この制度の生活者への負担は、ますます重くのしかかってくると思われます。さらに、この制度の導入で今後「安心できない」と答えた方は72.1%にのぼり、制度そのものが問われるレベルかと思われます。(図表6-1、6-2参照)

図表6-1 後期高齢者医療制度、生活への影響は？

影響する	26.9%
ある程度影響する	27.5%
影響しない	21.7%
分からない	18.4%
無回答	5.5%

図表6-2 後期高齢者医療制度、安心できる？

安心できる	1.9%
安心できない	72.1%
分からない	21.7%
無回答	4.3%